



太陽の子保育園
2022年7月号

暑い暑い夏がやってきましたね。
お日様ギラギラ、お水バシャバシャ＼(^o^)／
楽しい楽しい夏です。元気がわいてきますね。
熱中症に気をつけながら、あつい夏を楽しみましょう♪

むし～～(>_<)
気温の上昇とともに蚊が出
現する季節になりました。早
速、アロマ虫よけスプレーを作
り、戸外遊び前にスプレーを
しています。蚊にさされな
いように予防することが肝心
です。

虫刺されには、市販のかゆ
み止め「ムヒ」を使用します。
肌が荒れるなど使用を希望し
ない方は、担任にお伝えくだ
さい。

夏の感染症



ヘルパンギーा

突然の高熱で発症し、
口の中の奥のほうに水疱や潰
瘍ができます。
喉の痛みで、食べられない。
唾液のむのも辛いため、急に
よだれがふえることがある。



手足口病

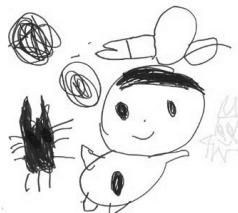
口の中、手のひら、足の裏な
どに、発疹や水疱ができます。
重症化はまれ。



咽頭結膜熱

発熱、咽頭炎(のどの腫れ)結
膜炎(目の充血)などの症状
があらわれます。

いざれも、ワクチンや特効薬はありません



ゆっくり過ごして治るの待ちましょう



忘れないで 溺れるときは静かです！

「溺れる」と聞いて、
どんな姿を
想像しますか？

実際の姿は…

ほとんどの子どもは、自分の身に何が起
きたかわからず、声も出さないそうです。

さらに気をつけたいのは、水深。わずか
10cmの深さでも、鼻と口を覆う量の水があ
れば溺れてしまいます。

海やレジャー施設だけでなく、家庭用の
プールやお風呂でも、危険はすぐそこにあ
ります。

絶対に目を離さないでください！



プールについて



プール遊びは、全身で水の感触を楽しめ、気持ちを解放出来ます。水の刺激で温度に対する抵抗力をつけ、皮膚を丈夫にし、自律神経の働きを活発にします。また、血液循環をよくし、心臓や肺の機能を高めるなど丈夫な身体を作ります。

一方で、プール遊泳は、水の抵抗により体力を消耗します。また、体が冷えることから、体温を維持するためにエネルギーを使うので、免疫力が低下した状態となります。体調の悪いときは、プールを見合わせることも大切です。

とびひ

感染経路は、接触感染であり、プールの水を介しては感染しません。ただし、病変部が水でふやけて搔き壊しがとんだり、接触してうつることがあります。また、水中で皮膚がふやけることは、とびひの悪化につながるため、とびひのある園児はプールは入れませ
ん。

水いぼ

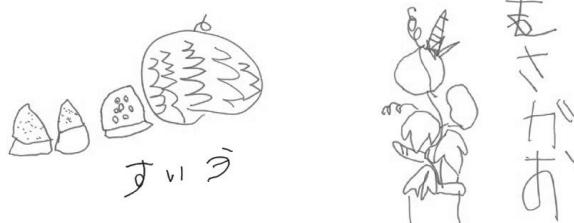
感染経路は接触感染です。プール水ではうつりません。プールには病変部をガーゼや
絆創膏などで覆ってください。水いぼの数が多く、覆いきれないときは、シャツやズボンをはいて入ります。

腸管出血性大腸菌感染症

感染経路は経口感染です。下痢をしている者は、罹患の可能性があるため、プールに
は入れません。

あたまじらみ

治療を始めればプールに入れます。



題字と手書きのイラストは、
らいおん組さんに書いてもらいま
した。

Q 夏のすべり台 表面は何度？

● 7月のよく晴れた日（気温31.0℃、湿度45%）の調査では…

① 約10℃	② 約30℃	③ 約70℃
--------	--------	--------

● すべり台：70.5℃ ベンチ：58.1℃ 地面：69.6℃

● こた 答えは…

● ひざ ねっ ひよ く ゆう く ひと たいおん 日差しに熱せられた遊具やアスファルトは、人の体温よ
りもはるかに熱くなっているのです。「すべり台にのって、
お尻をやけどした」「転んで地面に手をついたら、真っ赤になった」など、たくさん事故が
起こっています。外で遊ぶときは、熱中症対策はもちろん「夏のやけど」にも注意しましょう。